

取扱説明書 NS-EXSA860VP
200万画素
屋外用EX-SDIスターライトカメラ

屋内 / 屋外用



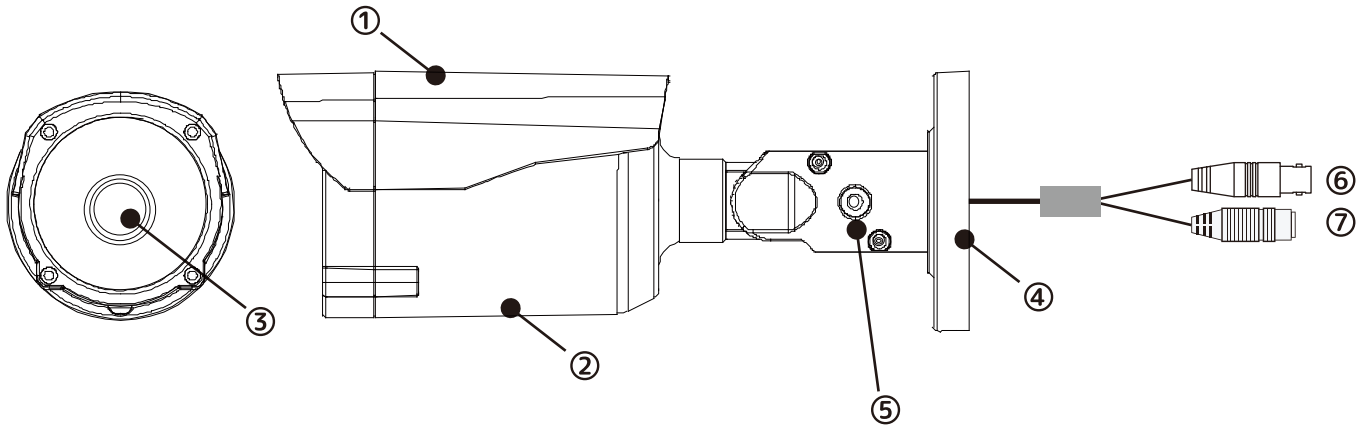
EXRV レコーダー (NS-9040EXRV / NS-9080EXRV / NS-9160EXRV) 専用カメラ

◆目次◆

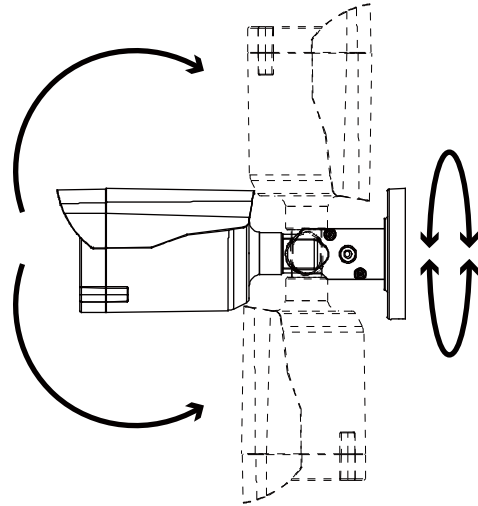
◆製品構成 / 各部名称と機能◆	3
◆配線例◆	4
◆設定画面◆	5
アイリス	6
露光	6
逆光補正	7
デイ&ナイト	8
カラー	9
デジタルノイズ除去	9
イメージ	10-11
SAT	12-13
システム	14
終了	14

◆製品構成 / 各部名称と機能◆

○本体 ○説明書(本書) ○壁面取付用ビス/アンカー ○L字レンチ



⑦付属の六角レンチで緩め、カメラの向きを調整します。
1箇所緩めることにより三軸方向に動きます。
※ケーブルにご注意ください。



①サンシェード(固定)

②カメラ本体

③レンズ

④カメラブラケット

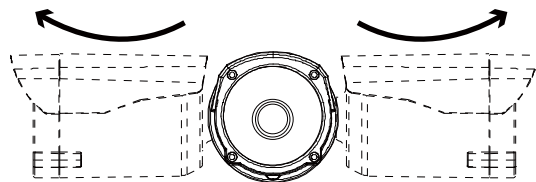
⑤カメラブラケット固定ビス

⑥映像端子

⑦電源端子

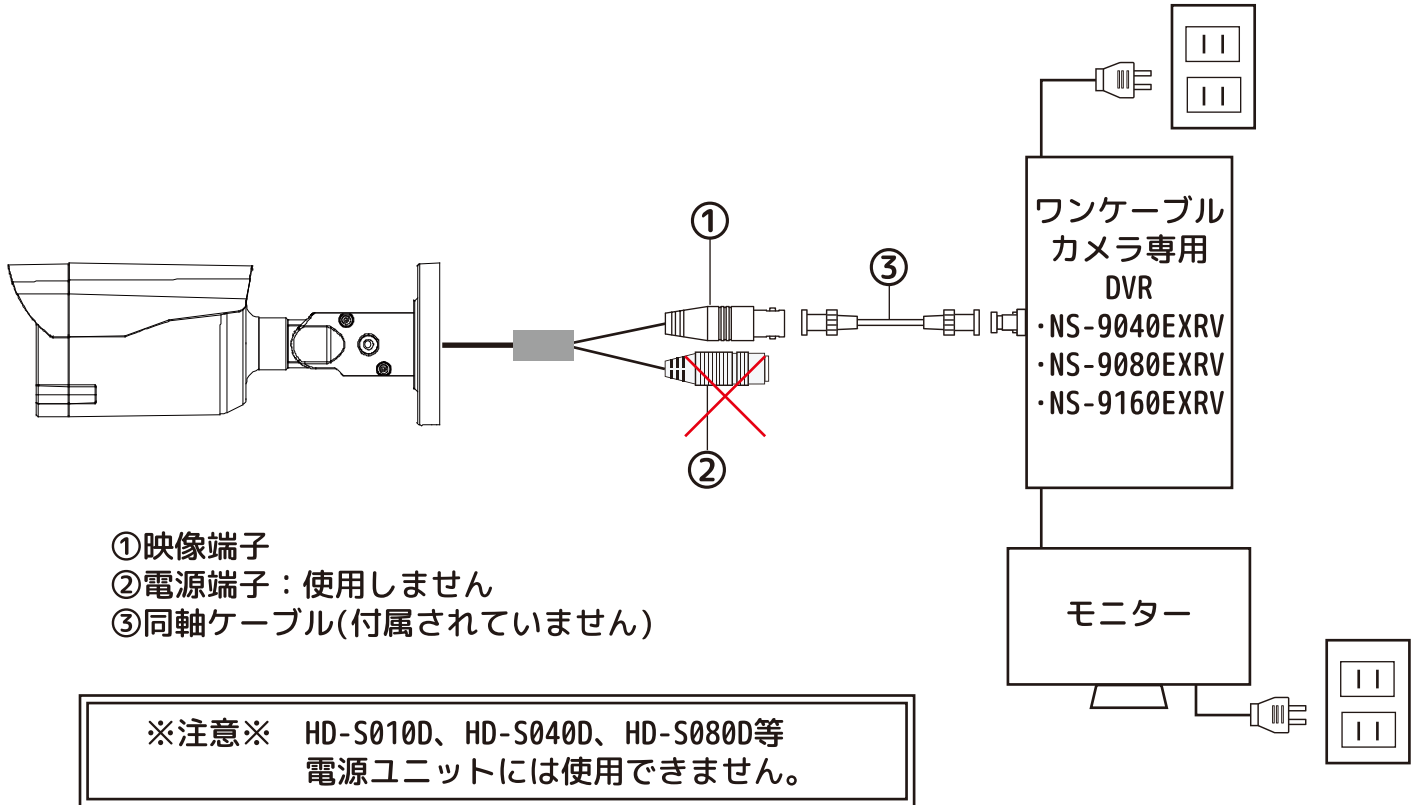
※ワンケーブルの場合は、使用しません。

※ツーケーブルの場合は、別売のACアダプター(12V1A)が必要です。

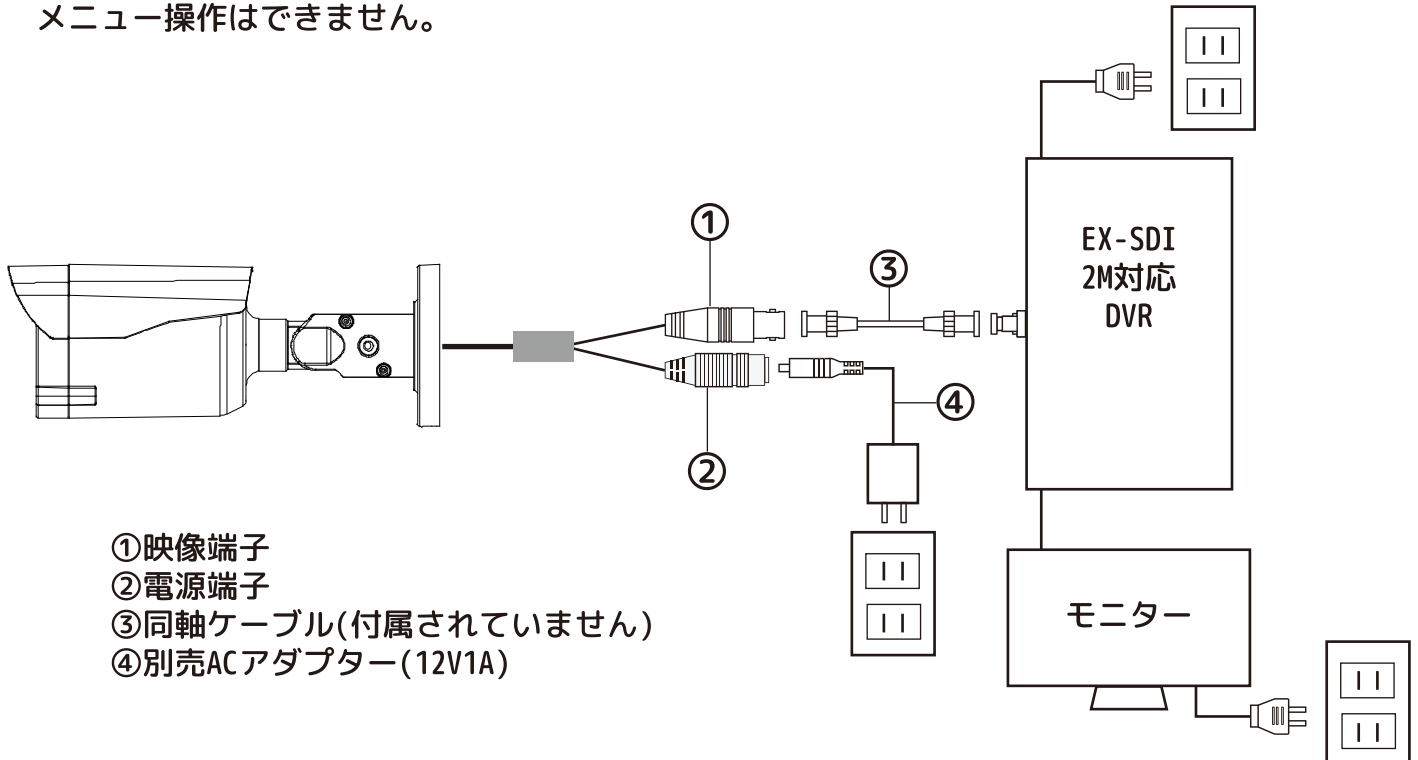


◆配線例◆

A. 電源重畳方式（ワンケーブル）時のケーブル配線



B. 電源別送方式(DC12V別電源)時のケーブル接続
メニュー操作はできません。



◆設定画面◆


カメラメニュー設定は、DVR(NS-9xxxEXRVシリーズ)より行い、DVRのOSDメニューボタン(図A参照)で操作します。

※メニュー画面上の文字・記号が黄色となっている状態がカーソル表示項目となります。

【リモコンの場合】

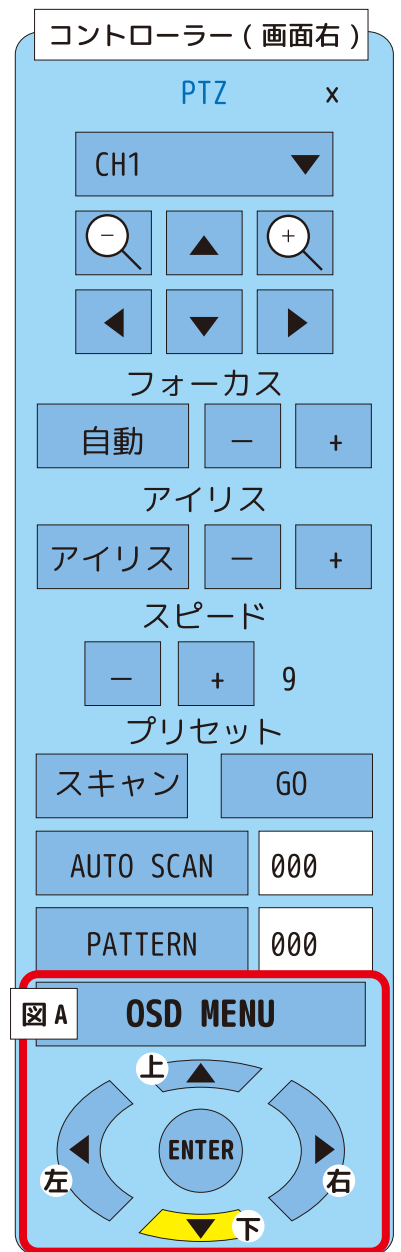
- ①リモコンの「P/T」を押します。
- ②画面右側にコントローラー(右図)が表示されます。
- ③リモコンの[上下左右]ボタンを使って、「OSD MENU」までカーソル(黄色)を移動し、リモコンの[ENTER]ボタンを押すと、画面上にカメラのメニュー画面が表示されます。
- ④リモコンの[上下左右]ボタンでカーソルをコントローラーの「上下」ボタン(下図)まで移動し、リモコンの[ENTER]ボタンを押すと、画面上のカメラメニューが上下します。
- ⑤リモコンの[上下左右]ボタンでカーソルをコントローラーの「左右」ボタン(下図)まで移動し、リモコンの[ENTER]ボタンを押すと、画面上のカメラメニューが切り換わります。
- ⑥また、決定や「♪」の場合は、コントローラーの「ENTER」(下図)をクリックします。

推奨【マウスの場合】操作がリモコンに比べて簡単です。

- ①マウスで画面上のPTZアイコン  をクリックします。
- ②「OSD MENU」をクリックすると、画面にカメラのメニュー画面が表示されます。
- ③カーソル(黄色)を移動させる場合は、コントローラーの「上」ボタン、「下」ボタンをクリックしてください。
- ④設定項目や数値を変更する場合は、コントローラーの「左」ボタン、「右」ボタンをクリックしてください。
- ⑤項目を決定する場合はコントローラーの「ENTER」ボタンをクリックします。
- ⑥【♪】のある項目は次画面があります。コントローラーの「ENTER」ボタンをクリックで次画面へ移動します。

前画面に戻る場合は、カーソルを「戻る」へ移動し、コントローラーの「ENTER」ボタンを選択します。

設定項目は変更後、カーソルを【終了】へ移動し、コントローラーの「ENTER」ボタンを選択すると反映されます。画面を見ながら操作してください。



メニュー画面の構成は以下の通りです。設定を行う画面を選択し、設定項目を変更します。

メニュー		
アイリス	電子光量調整	1. アイリス (P6) …………… 光量調整機能を選択します。
露光	♪	2. 露光 (P6) …………… 明るさについて設定します。
逆光補正	オフ	3. 逆光補正 (P7) …………… 逆光補正機能を調整します。
デイ&ナイト	カラー	4. デイ&ナイト (P8) ……… 昼夜の切替について設定します。
カラー	♪	5. カラー (P9) …………… 映像の色味の調整を行います。
デジタルノイズ除去	中	6. デジタルノイズ除去 (P9) … 映像のノイズ除去機能を設定します。
イメージ	♪	7. イメージ (P10-11) ……… 映像の表示について調整します。
モーション	オフ	8. モーション (P12-13) …… 動体検知機能の設定をします。
システム	♪	9. システム (P14) …………… カメラのシステム設定を行います。
終了	SAVE♪	10. 終了 (P14) …………… メニュー設定を保存して終了します。

操作がない場合、メニュー画面は約30秒で閉じます。ご了承ください。

menu_1 アイリス

必ず「電子光量調整」で使用してください。

○「電子光量調整」 ×「自動光量調整」

menu_2 露光[↓] 明るさやシャッタースピードを調整します。

露光	
明るさ	10 --
シャッタースピード	オート [↓] /マニュアル [↓] /FRICKER
デジタルスローシャッター	x2~x32/オフ
オートゲインコントロール	6 --
戻る	[↓]

<明るさ> 画面全体の明るさを「(暗)0~20(明)」より調整します。

<シャッタースピード>

・オート[↓]：「通常」で使用してください。

シャッタースピード(オート [↓])	
モード	通常/ぼやけ補正
戻る	[↓]

・マニュアル[↓]：シャッタースピードを固定します。「1/30~1/30000」の間で選択します。

シャッタースピード(マニュアル [↓])	
スピード	1/30~1/30000
戻る	[↓]

・FLICKER：蛍光灯のフリッカ(50Hz地域使用時)を低減します。

<デジタルスローシャッター> 低照度時のスローシャッター速度を、「x2~x32/オフ」より調整します。
※スローシャッター時には、動体に残像が出る場合があります。

<オートゲインコントロール> オートゲインコントロールの設定数値を「(低)0~10(高)」に設定します。

menu_3 逆光補正 逆光に対する補正を調整します。[オフ/ハイライト補正[Ⓜ]//バックライト補正[Ⓜ]/WDR[Ⓜ]]

《オフ》 逆光補正をしない状態です。通常このまま使用してください。

《ハイライト補正[Ⓜ]》 光源など光の強い部分を黒く塗りつぶした状態を表示します。

逆光補正(ハイライト補正 [Ⓜ])	
レベル	10---
カラー	BLK
戻る	[Ⓜ]

<レベル> 塗りつぶし範囲を「(広い)0~20(狭い)」より調整します。狭く設定した場合、光源部分のみを塗りつぶします。

<カラー> 塗りつぶす色を「黒/カスタマイズ(深緑)/白/黄/シアン/緑/マゼンタ/赤/青」より選択します。

《バックライト補正[Ⓜ]》 逆光が強い場合に、背景の光源を抑制し手前の映像がよく見えるよう抑制する光源の位置に補正エリアを設定します。(下図参照)

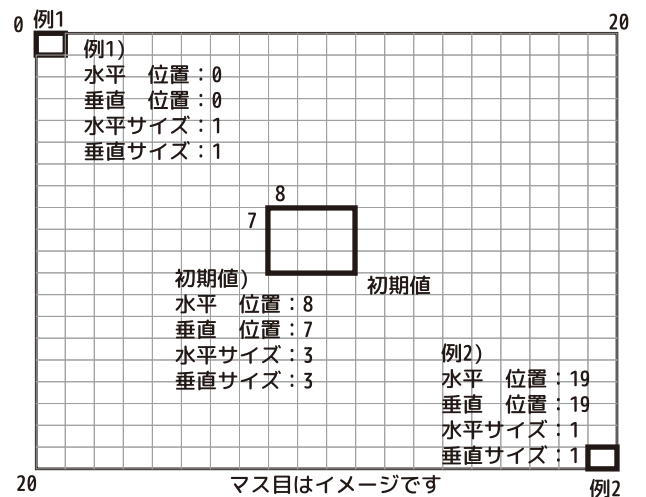
逆光補正(バックライト補正 [Ⓜ])	
水平位置	8
垂直位置	7
水平サイズ	3
垂直サイズ	3
戻る	[Ⓜ]

<水平 位置> 枠が「(左)0~20(右)」の数値分、左右に移動

<垂直 位置> 枠が「(左)0~20(右)」の数値分、上下に移動

<水平サイズ> 枠が「(左)0~20(右)」の数値分、横幅が伸縮

<垂直サイズ> 枠が「(左)0~20(右)」の数値分、縦幅が伸縮



《WDR[Ⓜ]》

WDR(WDR [Ⓜ])	
モード	通常/ROI [Ⓜ]
レベル	中/高/低
戻る	[Ⓜ]

<モード>

- ・ 通常
- ・ ROI[Ⓜ]

ROI(ROI [Ⓜ])	
WINDOW_ZONE	0~3
WINDOW_USE	オン
水平位置	320
垂直位置	180
水平サイズ	512
垂直サイズ	432
戻る	[Ⓜ]

照度が高くて、明るいエリアを「High Shutter」で表示して、該当のエリアをきれいに見られるようにする機能
 ※手でシャッタースピードを調整した時、ROI機能は実行されますが、画面上には見られない場合があります。これはシャッタースピードが合わなくて出る現象で、問題ではありません。



初期エリア

※バックライト補正の設定を参照して、エリアを設定します。

<レベル>

高/中/低より設定

<戻る> 前の画面に戻ります。

menu_4 デイ&ナイト

昼/夜のモード切替について設定します。[カラー/モノクロ↕/外部↕/オート↕/]

《カラー》常にカラーモードで稼働します。夜間などは低照度モードで稼働します。
スターライトカメラの効果をだすために、カラーでご使用ください。

《モノクロ↕》常にモノクロモードで稼働します。

デイ&ナイト(モノクロ↕)	
IR LED	オン
切替感度	0 --
戻る	↕

このカメラは赤外線照射器はついておりません。
IR LEDオン時、モノクロの明るさを切替感度で調整することができます。

《外部↕》このカメラは赤外線照射器がついてないため、使用しません。

デイ&ナイト(外部↕)	
IR LED	オン
切替感度	0 --
EXTERN SW	低
D>N THRES	5 --
N>D THRES	9 --
切替待機時間	低
戻る	↕

《オート↕》このカメラは赤外線照射器がついてないため、使用しません。

デイ&ナイト(オート↕)	
IR LED	オン
切替感度	0 --
AGCしきい値	10 --
AGCマージン	10 --
切替待機時間	低
戻る	↕

<戻る> 前の画面に戻ります。

menu_5 カラー

映像の色みについて調整します。

カラー	
AWB	オート/オート2/マニュアル
彩度	13---
戻る	

< AWB >

- ・オート：オートでの使用を推奨します。水銀灯や特殊な光源を使用している環境では、項目を変更するなど設定して環境に応じた映像に設定してください。
- ・オート2：色味を見ながら選択します。

・マニュアル

AWB(マニュアル)	
C-TEMP	5000K
赤レベル	10---
青レベル	10---
戻る	

C-TEMP：色温度を「5000K/8000K/3000K」より選択します。
赤レベル/青レベル：赤味、青味を設定します。

<彩度>

「模糊(0)～(20)鮮明」より調整します。

menu_6 デジタルノイズ除去

映像内のざらつき(ノイズ)を補正します。夜間映像などのノイズを除去します。必要に応じて設定してください。
]設定は、「中 / 高 / オフ / 低」の中から選択します。

<戻る> 前の画面に戻ります。

menu_7 イメージ (1/2)

カメラ映像の表示方法について調整します。

映像出力全体の表示に影響します。昼夜の映像の違いを考慮し、必要に応じて設定してください。

イメージ	
シャープネス	5---
ガンマ	0.45
ミラー	オフ
フリップ	オフ
ACE	オフ
曇り除去	オフ
プライバシー	↓
戻る	↓

《シャープネス》

映像内のエッジを強調します。実際の映像を確認して設定します。

「0(ソフト)～5(標準)～10(強調)」の間で設定します。

《ガンマ》

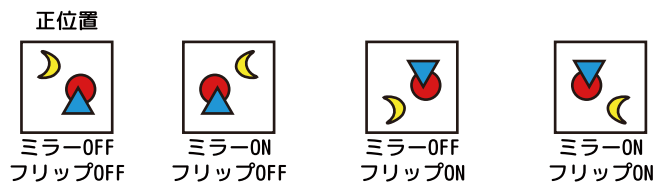
映像出力の明るさを補正します。「(明)0.45～0.75(暗)」の間で調整します。

《ミラー》

「オン/オフ」切り換えができます。「オン」の時、映像を左右反転にします。

《フリップ》

「オン/オフ」切り換えができます。「オン」の時、映像を上下反転にします。



《ACE》

映像の明暗差均等にするよう調整します。「オフ(標準) / 低 / 中 / 高」から選択します。

《曇り除去》

・オフ：通常は「オフ」で使用します。

・オン↓

曇り除去	
モード	オート / マニュアル
レベル	中 / 高 / 低
戻る	↓

霧がかかった状態になりやすい環境の場合「オン」にします。明暗差を強くし、視界不良を軽減します。

《プライバシー》

次ページで説明します。

<戻る> 前の画面に戻ります。

menu_7 イメージ (2/2)
《プライバシー》

プライバシー	
MASKING	モード 1/ モード 2/ オフ
PRIVACY BOX	オフ / オン
戻る	↓

・ MASKING

モード1：全体を白くマスクします。
モード2：全体を黒くマスクします。
オフ

・ PRIVACY BOX

BOX(プライバシー)	
エリアナンバー	0
エリア表示	オン
水平位置	12
垂直位置	2
水平サイズ	3
垂直サイズ	3
Y LEVEL	10 — —
CB LEVEL	10 — —
CR LEVEL	10 — —
TRANS	0
戻る	↓

< マスキングセル >

「0 ~ 15」より操作する BOX を選択します。

< マスキングモード >

「オン」⇄「オフ」で切り換えます。「オン」の場合、BOX 操作が可能です。

< 水平位置 >

「(左)0 ~ 60(右)」左右に移動します。

< 垂直位置 >

「(上)0 ~ 34(下)」上下に移動します。

< 水平サイズ >

「(狭)0 ~ 60(広)」左右に伸縮します。

< 垂直サイズ >

「(低)0 ~ 34(高)」上下に伸縮します。

< Y LEVEL >

「(黒)0 ~ 20(白)」マスクの色を調整します。

< CB LEVEL >

「(黄)0-20(青)」マスクの色を調整します。

< CR LEVEL >

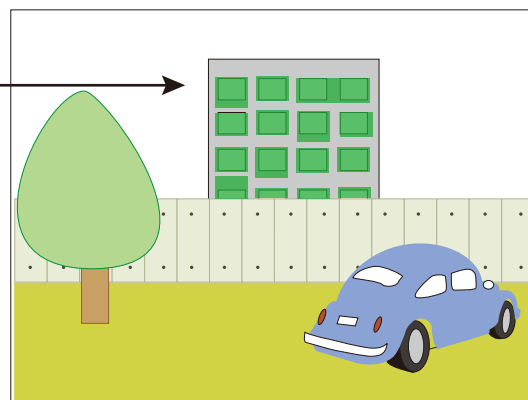
「(緑)0-20(赤)」マスクの色を調整します。

< TRANS >

「(不透明)0 ~ 3(透明)」よりマスクの透明度を選択します。

エリアナンバー (初期位置)					
0	1	2	3	4	5
6	7	8	9	10	11
12	13	14	15		

この様にそれぞれの窓にマスクをすることが、可能です。



例) BOX12 の場合 (定位置 H12、V10・サイズ H3、V3)
< マスキングセル > を 12 にします。

上図の 12 の BOX の操作が可能になります。

水平位置の数字を小さくすると左に移動します。数字を大きくすると右に移動し、13 側の BOX に重なります。

垂直位置の数字を小さくすると上に移動し、6 側の BOX に重なります。数字を大きくすると下に移動します。

水平サイズの数字を小さくすると左に縮みます。数字を大きくすると右に広がり、13 側の BOX に重なります。

垂直サイズの数字を小さくすると上に縮み、数字を大きくすると下に伸びます。

(※H、V、共にサイズを「0」にした場合、直径 2mm 程度の「点」になります。)

※設置に関して、被写体となる不特定多数の個人のプライバシーを侵害することがないように、十分留意することが必要です。

Y、CB、CR レベルともに 10 の場合、薄い灰色になります。
Y、CB、CR レベルともに 20 の場合、ピンク色になります。
Y、CB、CR レベルともに 0 の場合、緑色になります。

< 戻る > 前の画面に戻ります。

menu_8 モーション (1/2)

「オフ」初期値です。

「オン」感度や感知エリアを設定ができます。

モーション	
DET WINDOW	↕
DET TONE	2
MIRECT FILL	オフ/オン
感度	5---
MOTION OSD	オフ/オン
TEXT ALARM	オフ/オン
戻る	↕

カメラが映像内で動きを検知した際に、検知され警告とエリアを画面上に表示します。
 動体検知（モーション）の警告は外部に出力されません。映像にのみ表示されます。

※設定を始める前に必ず、<MOTION OSD>を「オン」に設定してください。
 動きに反応して、エリアに赤色の四角が表示されます。(初期の場合)

《DET WINDOW》

DET WINDOW	
WINDOW ZONE	0~3
WINDOW USE	オン/オフ
水平位置	1
垂直位置	1
水平サイズ	58
垂直サイズ	32
戻る	↕

検知させるエリアを設定します。設定した枠の中だけ色が表示されます。
 初期値は画面全体の少し内側が検知エリアになっています。

<WINDOW ZONE>

「0~3」の4種類のエリア設定が可能です。(それぞれ初期値が違います。)

DET WINDOW(0)	
WINDOW ZONE	0
WINDOW USE	オン
水平位置	1
垂直位置	1
水平サイズ	58
垂直サイズ	32
戻る	↕

DET WINDOW(1)	
WINDOW ZONE	1
WINDOW USE	オフ
水平位置	10
垂直位置	11
水平サイズ	20
垂直サイズ	11
戻る	↕

DET WINDOW(2)	
WINDOW ZONE	2
WINDOW USE	オフ
水平位置	30
垂直位置	22
水平サイズ	20
垂直サイズ	11
戻る	↕

DET WINDOW(3)	
WINDOW ZONE	3
WINDOW USE	オフ
水平位置	50
垂直位置	33
水平サイズ	20
垂直サイズ	11
戻る	↕

<WINDOW USE>

検知や設定する場合は「オン」、しない場合は「オフ」にします。

「オン」時、選択枠は塗りつぶされます。(設定中は黄色、設定後はDET TONEに準ずる、検知時は赤色)

<水平位置>

枠が左右に動きます。画面で確認しながら「(左)0~60(右)」より数値を設定します。

「0」が一番左になり「60」にした場合、枠は画面右側の外になります。

<垂直位置>

枠が上下に動きます。画面で確認しながら「(上)0~34(下)」より数値を設定します。

「0」が一番上になり「34」にした場合、枠は画面下側の外になります。

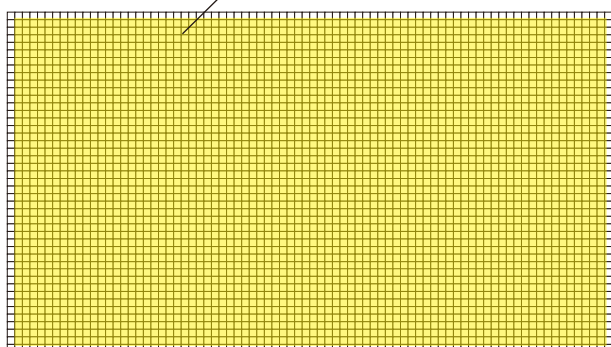
<水平サイズ>

枠が横に伸縮します。画面で確認しながら「(狭)0~60(広)」より数値を設定します。

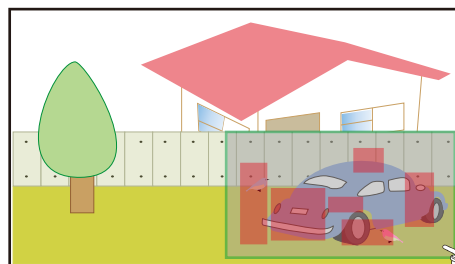
<垂直サイズ>

枠が縦に伸縮します。画面で確認しながら「(低)0~34(高)」より数値を設定します。

WINDOW ZONE [0] の初期値



マス目はイメージです



例)車の周りだけ動体検知枠を設定したとします。
 動体検知をすると、赤色で動きを表します。
 (DET TONEを0、MIRECT FILLをオンの場合)

<戻る> 前の画面に戻ります。

menu_8 モーション (2/2)

モーション	
DET WINDOW	↓
DET TONE	2
MDRECT FILL	オフ/オン
感度	5---
MOTION OSD	オフ/オン
TEXT ALARM	オフ/オン
戻る	↓

《DET TONE》

検知範囲外部分(境界線)のマスク度を設定します。「(不透明)0~3(透明)」 「4(枠線)」

《MDRECT FILL》

検知した時、「オン(塗り)」 「オフ(枠線)」で表示します。

《感度》

検知感度を設定します。「(強)0~10(弱)」より設定します。

《MOTION OSD》

「オフ」

「オン」感知エリアが赤色で表示されます。

《TEXT ALARM》

「オフ」

「オン」感知時下記の文字等が画面に表示されます。

- ・ WINDOW MOTION !!!
- ・ BRIGHT CHANGE !!!
- ・ UNKNOWN MOTION !!!
- ・ CAMERA MOVING !!!



例) DET TONE を 0、MDRECT FILL を オンにした場合に動体検知をすると、上図の様になります。

menu_9 システム

カメラのシステム部分の設定を行います。必要に応じて設定してください。

システム	
フレームレート	1080 30P
FREQ	60HZ
EX-SDI	135M(V2.0)
IMAGE RANGE	USER [⏏] /FULL/COMP
言語	JPN
リセット	オン [⏏]
戻る	⏏

《フレームレート》

※ご注意ください※ 必ず[1080 30P]のままご使用ください。

《FREQ》

60HZ(NTSC)：このまま使用してください。

50HZ(PAL)：映らなくなる場合がございます。使用しないでください。

《EX-SDI》

135M(V2.0)：このままでご使用ください。

オフ：使用しません。

270M(V1.0)：使用しません。

《IMAGE RANGE》

<USER[⏏]>

IMAGE RANGE(USER [⏏])	
OFFSET	16--
戻る	⏏

手動でOFFSET「(暗)0~32(明)」より調整します。

初期値(OFFSET 16)で使用してください。

<FULL> 使用しません。

<COMP> 使用しません。

《言語》

JPNのままご使用ください。

多言語に誤って設定した場合は、リセットを行ってください。日本語に戻ります。

《リセット》

[ENTER]を押してください。リセットされます。(工場出荷時に戻ります。)

《終了》

<SAVE[⏏]> 保存して終了します。

<CANCEL[⏏]> 保存しないで終了します。

<戻る> 前の画面に戻ります。